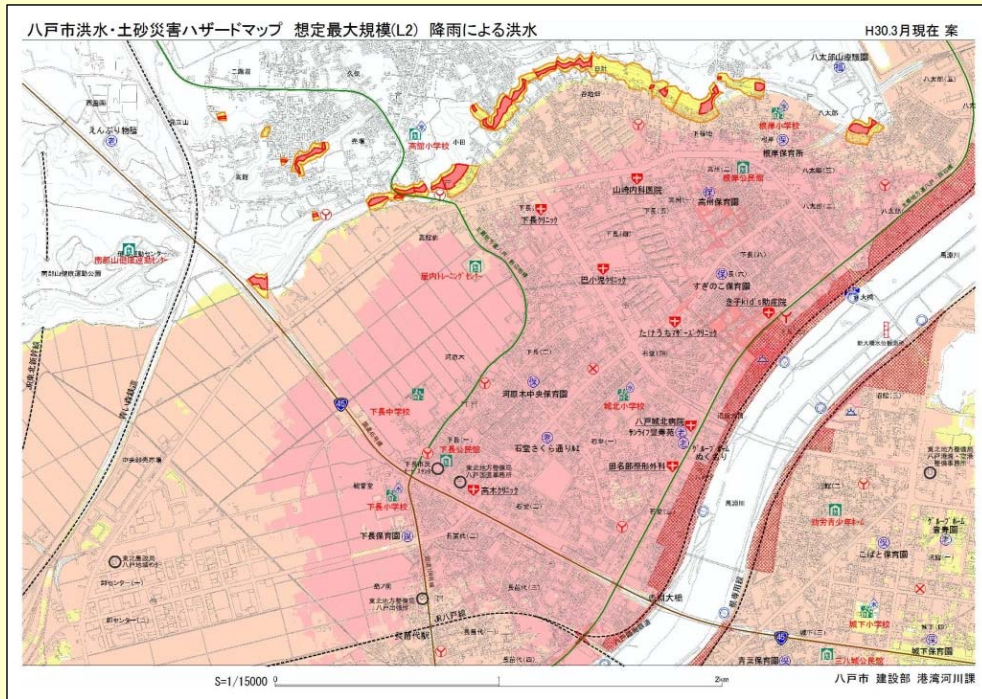


**平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定
馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会**

馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会 八戸市 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成29年度の主な実施内容】

- ・ 想定最大規模の浸水想定区域を反映した、洪水ハザードマップの作成準備（原案の作成）。

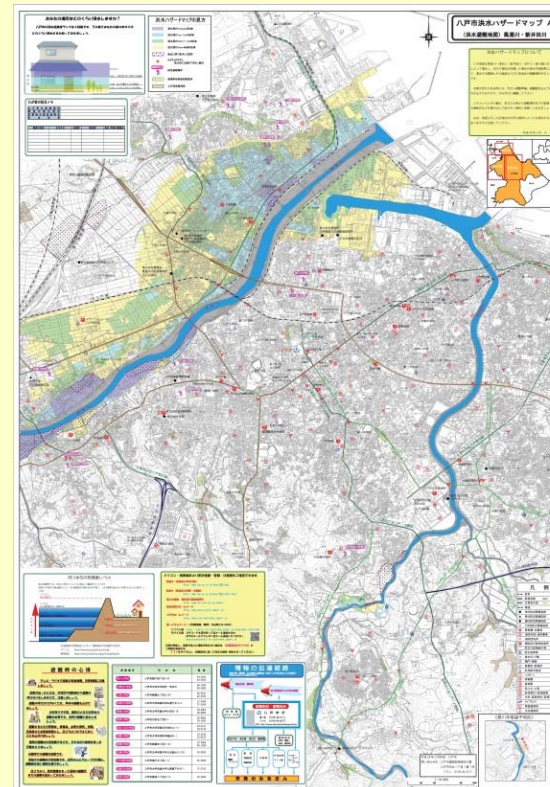


（馬淵川想定最大規模の浸水想定区域等を反映した部分的イメージ図）

- ・ 要配慮者利用施設の抽出。
- ・ 要配慮者利用施設の避難確保計画作成支援に向けた庁内関係課連絡会の実施。

【平成30年度の主な取組み予定】

- ・ 想定最大規模の浸水想定区域を反映した、洪水ハザードマップデータの作成。
- ・ 全戸配布に向けた地図面印刷の準備。



（現行の洪水ハザードマップ）

- ・ 要配慮者利用施設の抽出。地域防災計画への掲載（指定）。
- ・ 要配慮者利用施設に対する避難確保計画作成の周知、支援の開始。

馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会

三戸町 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成29年度の主な実施内容】

○三戸町災害対策図上訓練の実施

実施日：平成29年8月26日（土）

参加人員：町職員、消防団員、消防署員等 約80人

大規模な風水害発生時における職員の業務遂行能力の向上を図るとともに防災関係機関の連絡調整能力と連携体制を確認し、改善すべき課題の洗い出しを行う。



○自主防災体験研修会の開催

実施日：平成29年11月30日（木）

参加人員：自主防災会員、町内会員等 約45人

青森県と共催で自主防災組織の設立促進・スキルアップの一環として自主防災体験研修会を実施。



○新しい防災気象情報の活用についての研修

実施日：平成30年2月4日（日）

参加人員：三戸地区消防連絡協議会（三戸町・田子町・南部町各消防団）分団長以上幹部 約130人

青森地方気象台防災気象官から、土砂災害や浸水害の仕組み、メッシュ情報による危険度の把握、気象庁の防災気象情報の種類や見方などを学ぶ。



【平成30年度の主な取組み予定】

○町広報誌及び町ホームページへの水防団（消防団）員募集の記事を掲載

消防団員募集

消防団員は、それぞれ仕事を持ちながら、火災や大規模災害が発生した時に現場へかけつけて消火・救助活動を行うほか、平常時は訓練や防火・防災に対する啓発活動などを行う、非常勤特別職の地方公務員です。

町では、消防団員を随時募集しています。安全・安心なまちづくりのために、あなたの力が必要です。

■入団条件

性別を問わず、18歳以上で三戸町に居住または勤務している人

■問い合わせ先

三戸町役場 総務課 防災班 ☎ 20-1119



（平成30年2月 広報さんのへ掲載記事）

年度	団員数	前年比
平成28年度	450	—
平成29年度	445	-5
平成30年度	450	+5

○防災行政無線の整備方針の検討

防災行政無線のデジタル化推進を含めた、今後の整備方針について、引き続き検討を行う。



南部町 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成29年度の主な実施内容】

- ・ 自主防災組織への助成を行い取組の強化を図った
助成金交付団体 2 団体
発電機・サークルライトの配備 3 団体
- ・ 災害時に必要となる物資の備蓄
土のう袋 4, 000 枚
備蓄用アルファ米 900 食
- ・ N T T 東日本青森支店と「災害時における特設公衆電話の設置及び利用に関する覚書」を締結し、避難所への電話回線の設置を実施
設置済 25 避難所
- ・ 平成29年 6 月11日
馬淵川水系水防工法訓練参加 (41名)
- ・ 平成29年 8 月 6 日
南部町防災訓練実施 (123名)
- ・ 平成30年 2 月 4 日
三戸地区消防連絡協議会三戸地区消防団分団長以上幹部研修会参加 (52名)
演題：「新しい防災気象情報の活用について」
講師：青森地方気象台 防災気象官 外川千良



【平成30年度の主な取組み予定】

- ・ 自主防災組織への助成を行い取組の強化を図る
- ・ 災害時に必要となる物資の備蓄
土のう袋 4, 000 枚
備蓄用アルファ米 900 食
- ・ 「災害時における特設公衆電話の設置及び利用に関する覚書」における避難所への電話機の設置
- ・ 防災訓練等の各種訓練の実施予定



- ・ 広報誌、ホームページ等で水防団（消防団）募集の呼びかけを行う

年度	人数(人)	前年度からの増減
平成28年度	692	—
平成29年度	674	-18
平成30年度	678	+4

※各年度4月1日現在の水防団員数

五戸町 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成29年度の主な実施内容】

- 町広報誌及び町HPにて水防団員（消防団員）募集の記事等を掲載
28年度 483名 29年度 473名（増減 △10名）
- 五戸町地域防災計画の見直し
五戸町地域防災計画（風水害等災害対策編・地震災害対策編）を平成30年3月に修正
- 五戸町避難勧告等に関するマニュアルの改定
洪水等を含む各種災害における「五戸町避難勧告等に関するマニュアル」を平成30年3月に改定

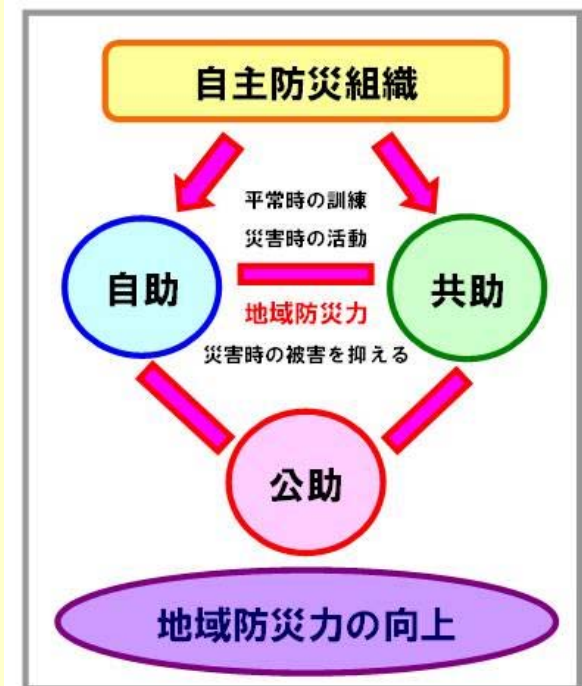
五戸町地域防災画概要版 ～自主防災の手引～



平成30年3月 五戸町

【平成30年度の主な実施内容】

- 町広報誌及び町HPへ水防団員（消防団員）募集の記事等を掲載予定
- 洪水ハザードマップ（浅水川分）の配付
見直しされた、浸水想定区域等を反映させたハザードマップを毎戸配布予定
- 自主防災組織の立ち上げ・育成事業
地域単位での自主防災組織を結成できるように、説明会等を実施予定



田子町 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成29年度の主な実施内容】

○田子町災害対策本部図上訓練の実施



大規模水害を想定した避難勧告の発令手順、情報伝達・情報共有体制の確認等を目的として実施。

参加者は町職員、水防団幹部、消防署、自衛隊、県（総員90名）

○水防体制に関する協議

水防団、消防田子分署、町防災部局が年度内の水防対応についてふりかえりを行い、今後の防災体制に関する意見交換を実施。



○三戸地区幹部団員による研修会



三戸地区（三戸町・南部町・田子町）の幹部団員約130名を対象に、青森地方気象台 防災気象官を講師にお招きして防災気象情報の活用に関する研修会を実施。

○田子町地域防災計画の修正

- ・ 関係法令に基づき地域防災計画を修正
- ・ 指定避難所の見直し、指定緊急避難場所の指定等

【平成30年度の主な取組み予定】

○田子町災害対策本部図上訓練の実施

避難勧告等の発令手順、防災関係機関との連携体制の確認等を目的として実施。

○各種マニュアル等の見直し・作成

地域防災計画に関連する各種マニュアル・計画等の修正及び作成。

- ・ 災害発生時の初動体制マニュアルの作成など

○災害時の住民との情報受発信体制の確認

災害時の町と自主防災会との情報の受発信について、情報伝達手段を確認し、互いに認識共有を図る。

- ・ 個人情報保護と防災減災に関する研修会の開催など

○緊急告知放送施設の新設工事

屋外放送施設を増設することにより難聴地区を解消し、災害に関する各種情報の伝達手段の充実を図る。



馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会 新郷村 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成29年度の主な実施内容】

○水防団(消防団)への加入呼びかけ。

年度	団員数	前年比
平成27年度	193	△3
平成28年度	191	△2
平成29年度	194	+3

積極的な呼びかけにより、団員数の増加につながった。

○防災行政無線のデジタル化

親局と屋外拡声子局4箇所
の整備を行った。



○水防団員(消防団員)を対象に訓練を実施

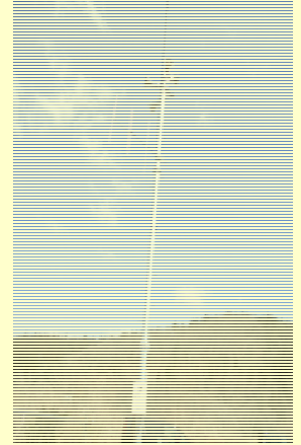
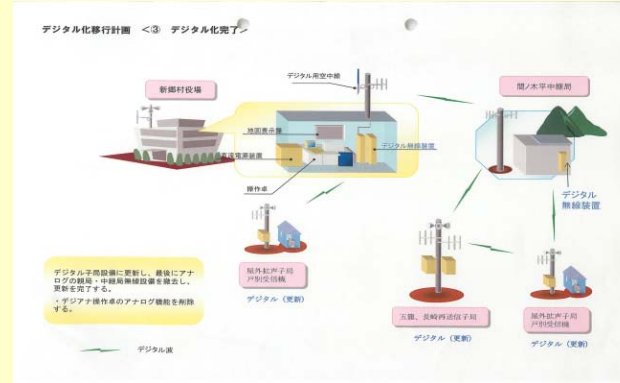


河川の氾濫を想定し、応急担架の作成方法や、ロープ結束方法等の訓練を行った。

【平成30年度の主な取組み予定】

○防災行政無線のデジタル化推進

屋外拡声子局17箇所の整備を行う。



○水防団(消防団)の募集

団員の高齢化や被用者率の増加等により、団員の確保が困難となってきているため、村広報紙及びHP等を活用し、団員の確保に努める。

○総合防災訓練の実施

地域住民、水防団員、防災関係機関等が合同で訓練を実施し、有事に備える。



【平成29年度の主な実施内容】

○馬淵川河川改修事業の実施

- ・南部町大向地区、門前地区、駅前地区及び、支川熊原川において河川改修事業を実施
- ・このうち大向地区については、築堤が完了



○想定最大規模降雨による浸水想定区域等の作成

- ・馬淵川、浅水川、熊原川及び、種子川において、想定最大規模降雨による浸水想定区域等について検討
- ・平成30年度の公表を予定

○浸水実績図の作成、公表

- ・洪水被害に対するリスクを地域住民に周知するため、馬淵川水系については、過去の6洪水を対象とし痕跡調査結果を基に作成し県ホームページで公表
(公表ページアドレス)



8

○避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

- ・馬淵川、浅水川、熊原川、種子川において避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成に着手



【事例】五所川原市との検討会の様子 (H30. 3. 22撮影)

○ホットラインの構築及び運用

- ・河川管理者(県)から市長村長へ直接、河川水位の状況等を的確かつ確実に提供する体制を構築
- ・平成29年度は、馬淵川において南部町長へ2回、熊原川において三戸町長へ2回、ホットラインを実施。

○川の防災安全教室を実施

- ・防災知識の普及のため、小学生を対象とし川の防災教育を実施 (H29: 南部町立名久井小学校)



洪水はなぜ起こるのか？
洪水(こうずい)とは、ふだんよりはるかに大きい量の水が川を流れる現象です。
この時、場合によっては、河川の堤防や護岸(ごかん)をこえて冠氾(はんらん)することもあります。
この洪水発生の主な原因を考えてみましょう。

川の流れ方のせいだった？
青森県のほとんどの川はかたむき(かたむき)が急で短いので、降った雨が短い時間で川に集まり、海まで流れ出てしまいます。

もみぢの馬淵川(まへぢがわ) 洪水時の馬淵川

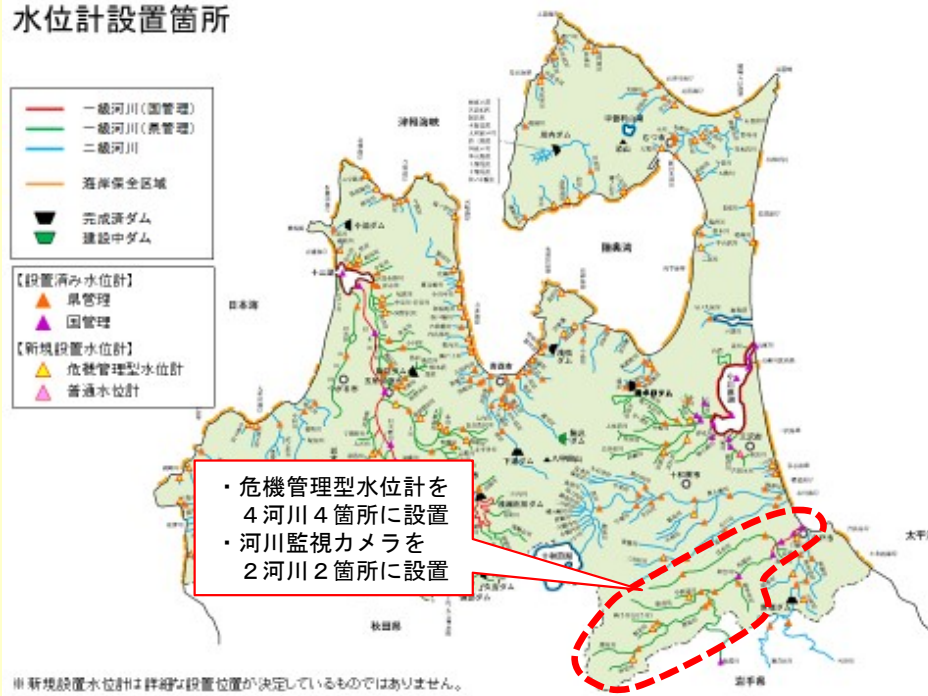
テキスト抜粋

【平成30年度の主な実施内容】

○危機管理型水位計等の設置

- ・住民避難や水防活動に資する基盤整備として、県内80箇所に設置することとした危機管理型水位計のうち、本協議会では、土橋川、小猿辺川、相米川及び杉倉川の4河川4箇所に設置
- ・また浅水川及び熊原川において監視カメラを設置

水位計設置箇所



市町村	八戸市	三戸町	田子町
設置河川	土橋川	小猿辺川	相米川、杉倉川

<危機管理型水位計設置予定河川>

○重要水防箇所の合同巡視

- ・水防団、水防管理団体（市町村）及び河川管理者（県）等により、洪水に対しリスクの高い箇所を合同で巡視
- ・平成30年度は、馬淵川、土橋川及び如来堂川を対象に実施予定



平成29年度の実施状況
(H29. 7. 26撮影)

○緊急排水計画の策定に着手

- ・氾濫発生時における氾濫水の排水による浸水継続時間短縮を図るため、緊急排水計画の策定に着手
- ・浸水継続時間の短縮により、氾濫被害軽減、緊急輸送路の早期確保及び被災地の早期復旧等が図られる
- ・平成30年度は、アンケート等により民間及び圏域市町村のポンプ保有状況を調査し、排水ポンプの緊急配備における実効性や課題等の検証を行う



防災危機管理課 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成29年度の主な実施内容】

○防災教育や防災知識の普及

- ・青森市、八戸市などで防災全般に関する出前講座を計16回開催



○広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

- ・平成30年3月13日に弘前市内、19日に八戸市内で開催された減災対策協議会勉強会において、構成員に対して広域避難計画に係る講演を実施

【平成30年度の主な取組み予定】

○防災教育や防災知識の普及

- ・昨年度に引き続き、要望に応じて出前講座を開催
- ・今年度、県内全世帯に配布する「青森県防災ハンドブック」を用いた普及啓発



○広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

- ・市町村の広域避難計画の作成支援（指導・助言、市町村間の調整等）

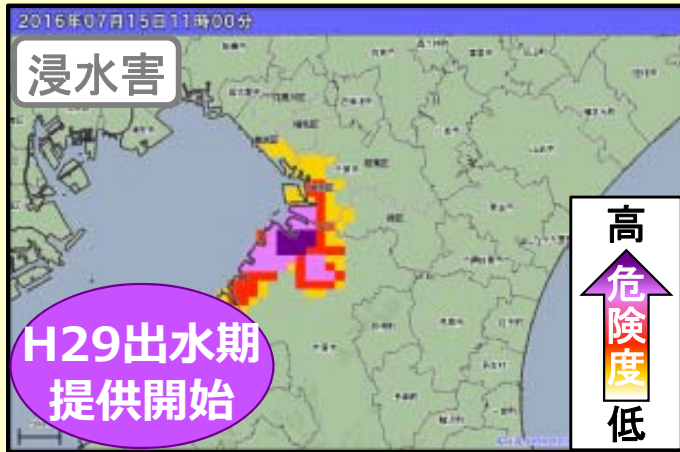
馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会

青森地方気象台 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成29年度の主な実施内容】

- ・大雨警報（浸水害）洪水警報の発表基準を変更
- ・市町村内のどこで危険度高まっているか、確認できる危険度分布の予測（メッシュ情報）の提供

気象庁HPで提供



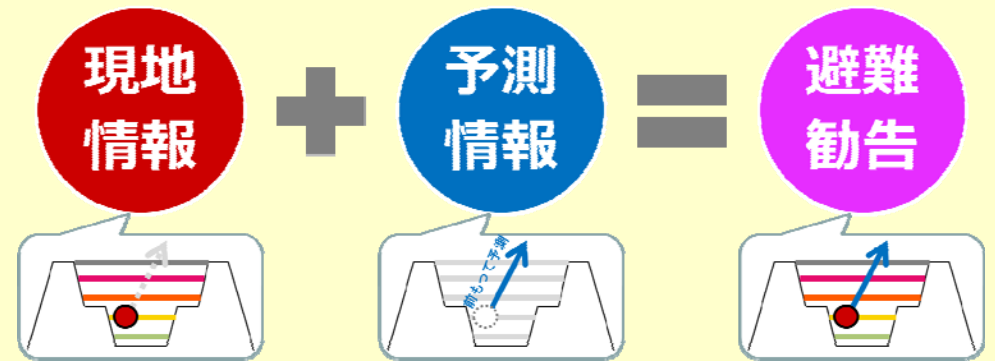
「危険度を色分けした時系列」と「警報級の可能性」も気象庁HPで提供

【平成30年度の主な取組み予定】

平成29年から警報等が発表されたときに、実際に危険度が高まる時間帯と場所を把握できる情報の提供を開始。

今後は、市町村の防災担当者や住民が、現地情報と合わせることで、避難勧告や避難開始を判断できるように周知・啓発に努めていく。

市町村長の避難勧告
住民の主体的避難



色が持つ意味	説明	内閣府のガイドラインの発令基準に対応する避難情報
極めて危険 すでに基準Ⅲに到達	流域雨量指数の実況値が過去の重大な洪水害発生時に匹敵する値にすでに到達。重大な洪水害がすでに発生しているおそれが高い極めて危険な状況。	
非常に危険 3時間先までに基準Ⅲに到達すると予測	水位周知河川・その他河川がさらに増水し、今後氾濫し、重大な洪水害が発生するおそれが高い。水位が氾濫注意水位等を越えている場合には速やかに避難を開始する。	氾濫注意水位等を越えていれば 避難勧告
警戒（警報級） 3時間先までに基準Ⅱに到達すると予測	水位が水防団待機水位等を越えている場合には避難の準備をして早めの避難を心がける。高齢者等は速やかに避難を開始する。	水防団待機水位等を越えていれば 避難準備 ・高齢者等避難開始
注意（注意報級） 3時間先までに基準Ⅰに到達すると予測	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。	
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	

馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会

青森河川国道事務所 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成29年度の主な実施内容】

- ・わかりやすい洪水予報文への改良
- ・指定避難地区を越えた避難計画の策定に向けた勉強会の開催
- ・小学生を対象とした防災教育の実施

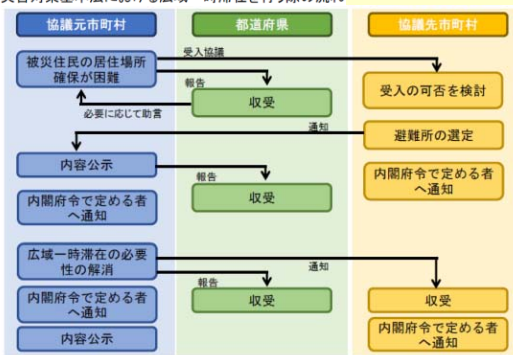
わかりやすい
洪水予報文への改良

指定避難地区を越えた避難計画の
策定に向けた勉強会の開催



H30. 3. 19

災害対策基本法における広域一時滞在を行う際の流れ



小学生を対象とした防災教育の実施



11月16日
『わたしたちの馬淵川～洪水に備えてできる事を考えよう～』

【平成30年度の主な取組み予定】

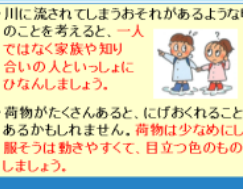
- ・小学生を対象とした防災教育の実施



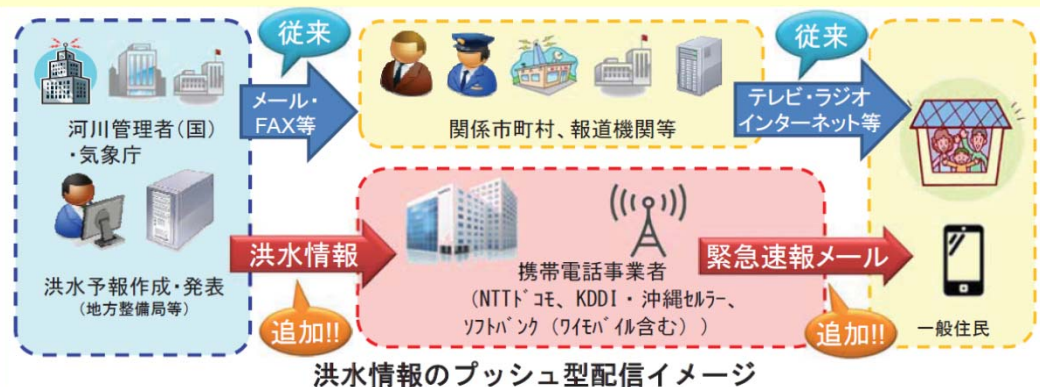
洪水を防ぐために、国土交通省では、さまざまなことを行っています。



洪水がおきたらどうすればいいの？！（その5）



・洪水情報のプッシュ型配信



洪水情報のプッシュ型配信イメージ